

国立情報学研究所(NII)  
学術ポータル担当者研修  
講義(1)「学術情報流通の現状と課題」

日時:2011年8月3日～5日/2011年8月24日～26日

会場:名古屋大学/国立情報学研究所(NII)

講師:岡本真(アカデミック・リソース・ガイド株式会社)



# 本講義の目的と構成

- 目的：
  - 最低限の共有事項をつくるため、認識の一致を図る。
- 構成：
  - 学術情報流通の現状
  - 学術情報流通の課題
  - 本研修の全体計画－現状と課題を前提に



# 学術情報流通の現状

- 国レベルでの展開
  - 国立国会図書館 (NDL) - NDL Search
  - 科学技術振興機構 (JST) - J-Stage/Journal@rchive/J-GLOBAL
  - 国立情報学研究所 (NII) - CiNii
- 大学レベルでの展開
  - 機関リポジトリの普及 (約150)
  - ディスカバリー・サービスの試行 (筑波大学、九州大学)
- 民間レベルでの展開
  - Wikipedia、Yahoo!知恵袋、Twitter、Facebook等
  - カーリルの登場
  - 電子書籍・電子図書館の本格化



# 学術情報流通の課題

- 複雑(多角・分散)化する学術情報流通の場
  - 大規模ベンダーによる寡占
  - オープンアクセス運動の継続
  - 民間サービスのプラットフォーム化
- 大規模データの時代への突入
  - オープンデータという動向
  - e-Scienceという提案
- 「ポータル」戦略の揺らぎ
  - ビジネスからアカデミアまでに底通する課題
    - 参考:唯一の例外であるYahoo! JAPANを支えるトピックスの力
  - 一点集約型「ポータル」の終焉



# 本研修の全体計画－現状と課題を前提に

## ○ 目的:

1. 最新の**Web** 技術やコンテンツ、サービスに関する知識と技術を知る
2. それらを活用した新たな学術情報の提供・発信サービスの企画力を身に付ける

## ○ 方法:

- 実際に存在するウェブサービスを事例として取り上げ、そのサービスの改善を図る企画書(館内・学内での承認を得るための書類)と、要求仕様書(企画書の承認を前提に、主に学外の開発受託ベンダーに要求事項を伝えるための書類)を作成する。
- その際、グループ討議を中心とし、講師陣を交えたワークショップ形式で実施する。



# 3日間、頑張りましょう！

国立情報学研究所(NII)  
学術ポータル担当者研修  
講義(1)「学術情報流通の現状と課題」

日時:2011年8月3日～5日/2011年8月24日～26日

会場:名古屋大学/国立情報学研究所(NII)

講師:岡本真(アカデミック・リソース・ガイド株式会社)

